



工業団地
オンデマンド
子育て支援
サービス
人権啓発センター
人権擁護委員
市民相談
一覧
まちのわだい
八代市からの
お知らせ
休日当番医
休日当番薬局
乳幼児健診
母子相談
くらしの情報
伝言板
市施設情報
SDGs
知ってクイズ
読者プレゼント
キッズ&ユース

工業団地
オンデマンド
子育て支援
サービス
人権啓発センター
人権擁護委員
市民相談
一覧
まちのわだい
八代市からの
お知らせ
休日当番医
休日当番薬局
乳幼児健診
母子相談
くらしの情報
伝言板
市施設情報
SDGs
知ってクイズ
読者プレゼント
キッズ&ユース

3/24 「SL人吉」最終運行および 運行終了式典



JR九州の観光列車「SL人吉」の最終運行および運行終了式典が八代駅で行われました。「ハチロク」の愛称で親しまれた現役最古のSL列車は、この日、SLの釜から移した火を消す「火消し式」をもって、101年の歴史に幕を閉じました。

3/26 『八代亜紀 お別れの会 ～ありがとう…これからも～』



東京都の片柳アリーナで開かれた『八代亜紀 お別れの会～ありがとう…これからも～』のパブリックビューイングが市役所1階多目的ホールで行われ、市民やファンなどが故人をしのびました。お別れの会は、生演奏のコンサート形式で行われ、「舟唄」などが演奏されました。

3/28 西田精麦株式会社が「はばたく 中小企業・小規模事業者300社」受賞



「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定された西田精麦株式会社の西田啓吾代表取締役社長が、中村市長に受賞を報告しました。西田社長は「このような賞を受賞でき光栄です。これからも持続可能な海外展開を推し進めていきます」と話しました。

3/19 八代地方青年農業者クラブ連絡 協議会が農林水産大臣賞を受賞



第62回全国青年農業者会議プロジェクト発表の土地利用型作物部門で、八代地方青年農業者クラブ連絡協議会の林孝憲さんが「～持続可能な農業でコスト削減～堆肥だけで、稲WCSをつくる！」というテーマで発表を行い、最高位となる農林水産大臣賞を受賞しました。

3/26 小学校新入学児童への 黄色い帽子贈呈式



八代地区交通安全協会の三浦賢治会長が、北岡教育長に小学校新入学児童への黄色い帽子959個分の目録を贈呈しました。これは、通学時や外出時に子どもを交通事故から守ることや、運転者の人命尊重の意識啓発を目的に贈られるもので、今年で25回目です。

3/28 八代市立鏡第二保育園閉園式



八代市立鏡第二保育園の閉園式が行われました。鏡第二保育園は、令和6年4月から同町内の鏡保育園と統合します。中村市長は「72年という歴史ある保育園の閉園は大変寂しいことですが、これからも安心して楽しい園生活が送れるよう支援していきます」とあいさつしました。

3/9 アウトドア拠点施設「アウトドア ステーションやつしろ」オープン



アウトドア拠点施設「アウトドアステーションやつしろ」のオープニングセレモニーがJR新八代駅で行われました。この施設は、市民や観光客が八代で気軽にアウトドアを楽しめるように、電動アシスト自転車やキャンプ用品の貸し出し、アウトドア関連情報の発信を行います。

3/13 ヤツシロトマトドラフト ICHI【壺】(トマトビール)完成



合同会社 CENTRAL MARKETの福田周作代表社員が、中村市長に「ヤツシロトマトドラフトICHI【壺】」の完成を報告しました。同商品は、ドイツ産のホップ、麦芽に本市産のトマトを加え、苦みの中にトマトの香りを感じる発泡酒で、フレッシュな味わいが楽しめます。

3/19 生姜梅酒 およね御前 完成



株式会社 橋永農園の橋永高徳代表取締役が、中村市長に「生姜梅酒 およね御前」の完成を報告しました。同商品は、東陽産の生姜と樹上完熟で収穫した梅(翠香)を使用し、甘酸っぱく爽やかな風味とピリッとした舌触りが楽しめます。

3/1 第19回八代亜紀絵画コンクール 表彰式



第19回八代亜紀絵画コンクールの表彰式が行われました。このコンクールは「八代亜紀と共に明日の八代をつくる会」が平成15年から開催しているもので、株式会社ミリオン企画賞を受賞した島蓮太郎くん(日奈久小1年)は「賞をもらうことができ嬉しいです」と話しました。

3/10 肥薩おれんじ鉄道開業 20周年記念式典



肥薩おれんじ鉄道の開業20周年記念式典が八代駅で行われました。この日は、八代駅と鹿児島県の川内駅、出水駅の3会場でイベントが実施され、八代駅では新制服や新たに公式キャラクターに認定された「ディーゼルガールズ」のラッピング車両が披露されました。

3/13 令和6年能登半島地震の被災地への 災害支援物資(置き畳)の出発式



令和6年能登半島地震の被災地への災害支援物資(置き畳)の出発式が、八代地域農業協同組合本所で行われました。これは、本市と氷川町が被災地の仮設住宅などに八代産いぐさを使用した「置き畳」を届けるもので、3月末までに5,400枚を被災地へ発送しました。